

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中小企業資金融資運営委員会事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課			
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		主管課長	渋谷 俊之			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内店舗・工場・事業所・営業所を有する法人及び個人	意図	市内中小企業者に適正に資金融資を行うために設置した。
事業内容	市内中小企業者に対する資金融資に関し、必要な調査及び審議を行い、必要があれば市長に対し建議をする。			
事業開始から現在までの状況変化	金融機関の職員、商工関係団体の役員、中小企業を代表する者、公募による2名の市民を加え合計6名で開催。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		融資運営委員会の開催回数	2	2	2	回	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						前年度の融資実績や現在の融資状況、本事業に対する課題について意見を聴取し、資金融資事業を適正に行うための附属機関として機能している。
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		760,100	828,300	755,150			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		760,100	828,300	755,150			
人役・職員(人)		0.11	0.11	0.11			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	特になし	取組の課題	依然として女性委員の割合が低い
今年度(H28)に実施した取組	新たな公募委員2名を加え、委員会を2回開催した。	今後の改善計画	女性委員の割合を高め、多様性のある審議を行う。